

神戸市看護大学 御中

メーリングリストシステム

管理者操作手順書

(個別 ML 管理者様向け)

第 1.1 版

目次

1. メーリングリストの管理.....	1
2. コマンドメールの記述方法.....	2
2.1. メンバーアドレスの追加.....	2
2.1.1. 受信可能メンバーのみに追加.....	3
2.1.2. 投稿可能メンバーのみに追加.....	4
2.2. メンバーアドレスの変更.....	5
2.3. メンバーアドレスの削除.....	6
2.4. メンバーアドレスへの配信停止.....	7
2.5. メンバーアドレスへの配信再開.....	8
2.6. メンバーアドレス一覧の取得.....	9
2.7. 複数コマンドの記述.....	10
3. 返信メール.....	11
3.1. 成功時の例.....	11
3.2. 失敗時の例.....	12

1. メーリングリストの管理

メーリングリストの管理は、所定の書式に従って書かれたメール（**コマンドメール**と呼ばれます）を所定のアドレスに送信することで行います。メーリングリストシステムがコマンドメールを受け付けると、コマンドに従って処理が実行され、その結果はメールで返信されます。返信メールの内容を確認し、処理が正常に行われたかどうかを確認することができます。このコマンドメールを用いたメーリングリストの管理は、あらかじめ管理者アドレスとして登録されたアドレスからのみ行うことができます。

コマンドメールの送信先アドレスは、メーリングリスト名の後に「-ctl」を付けたものです。

<メーリングリスト名>-ctl@tr.kobe-ccn.ac.jp

例えば、メーリングリストのアドレスが `ccnSAMPLE@tr.kobe-ccn.ac.jp` の場合、コマンドメールの送信先アドレスは、

`ccnSAMPLE-ctl@tr.kobe-ccn.ac.jp`

となります。

上記アドレスに対して、本文に所定のコマンドを書いて送信することでメーリングリストの操作を行います。具体的なコマンドの記述方法につきましては第2節を参照してください。

2. コマンドメールの記述方法

本節では、コマンドメールでのメーリングリストの管理の際に記述するコマンドについて説明します。

2.1. メンバーアドレスの追加

指定したアドレスをメーリングリストのメンバーとして追加します。

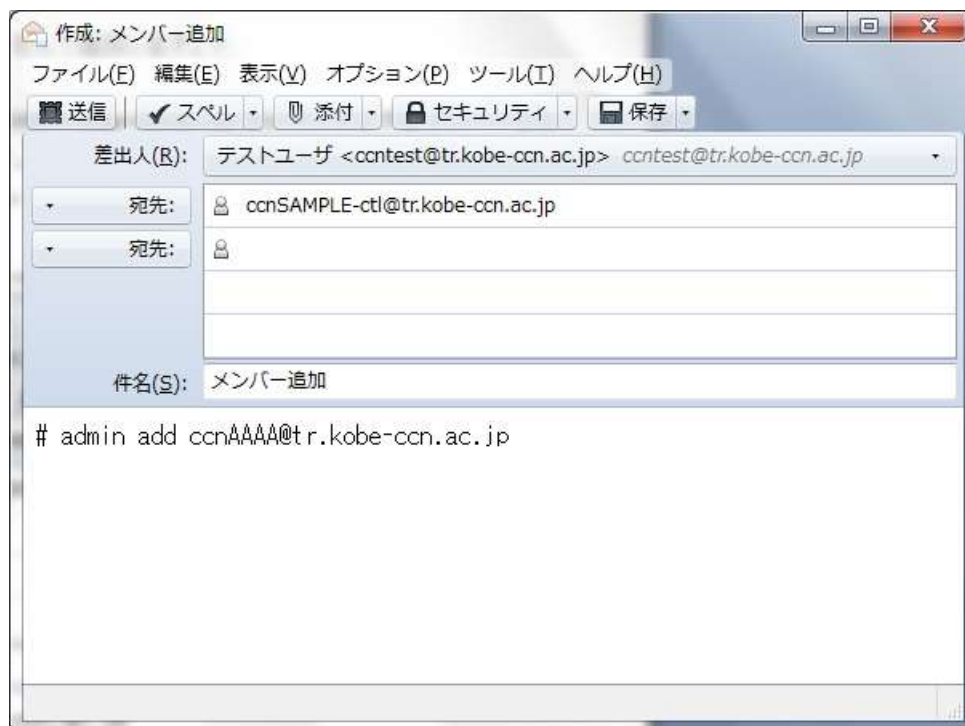
コマンド： `# admin add <メールアドレス>`

例：ccnSAMPLE というメーリングリストに ccnAAAA@tr.kobe-ccn.ac.jp というアドレスをメンバーとして追加する場合は、次のように設定して送信します。

宛先： ccnSAMPLE-ctl@tr.kobe-ccn.ac.jp

件名： 任意（空欄でも可）

本文： `# admin add ccnAAAA@tr.kobe-ccn.ac.jp`



このコマンドで追加したアドレスでは、メーリングリストへの受信と投稿の両方が可能です。受信と投稿のいずれか片方のみが可能なアドレスとして追加するコマンドは、それぞれ 2.1.1 節、2.1.2 節を参照してください。

2.1.1. 受信可能メンバーのみに追加

指定したアドレスを受信のみ可能なメンバーとして追加します。

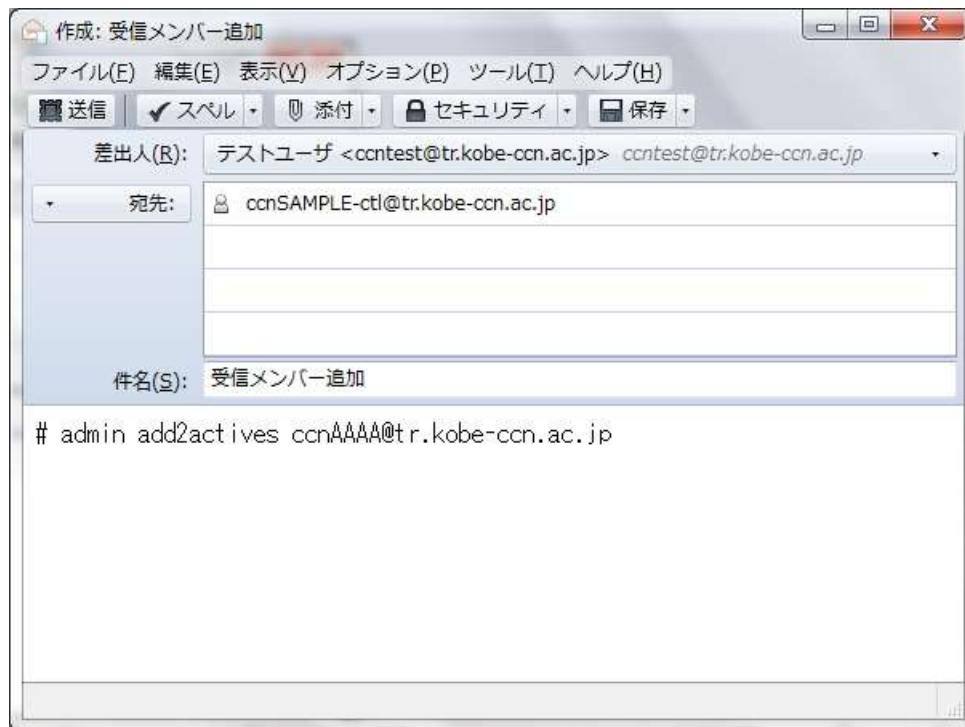
コマンド： # admin add2actives <メールアドレス>

例：ccnSAMPLE というメーリングリストに ccnAAAA@tr.kobe-ccn.ac.jp というアドレスを受信のみ可能なメンバーとして追加する場合は、次のように設定して送信します。

宛先： ccnSAMPLE-ctl@tr.kobe-ccn.ac.jp

件名： 任意（空欄でも可）

本文： # admin add2actives ccnAAAA@tr.kobe-ccn.ac.jp



2.1.2. 投稿可能メンバーのみに追加

指定したアドレスを投稿のみ可能なメンバーとして追加します。

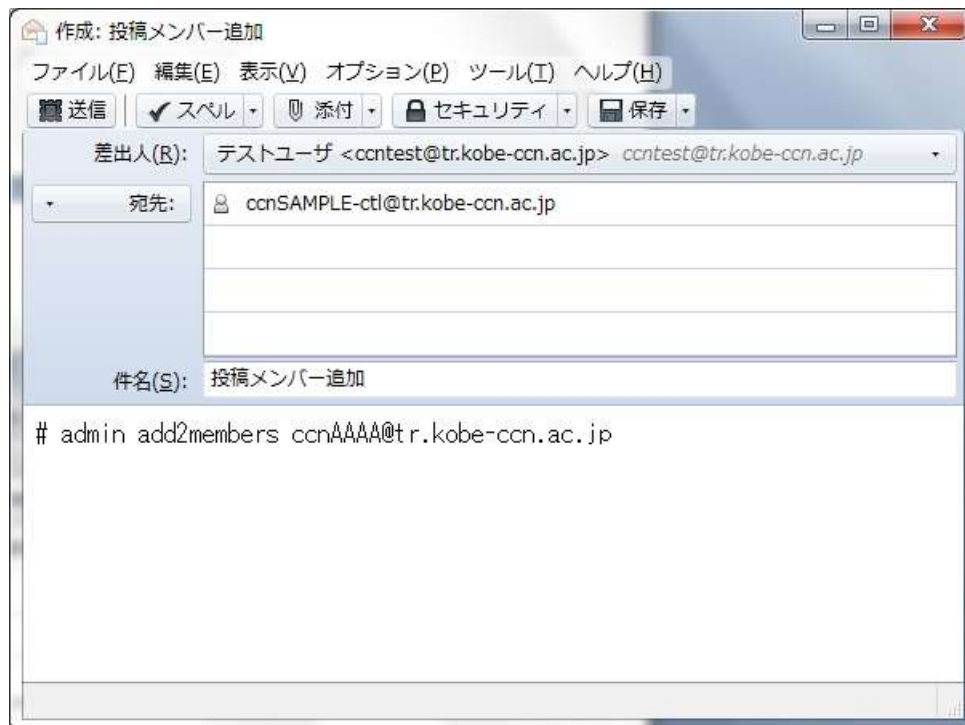
コマンド： # admin add2members <メールアドレス>

例：ccnSAMPLE というメーリングリストに ccnAAAA@tr.kobe-ccn.ac.jp というアドレスを投稿のみ可能なメンバーとして追加する場合は、次のように設定して送信します。

宛先： ccnSAMPLE-ctl@tr.kobe-ccn.ac.jp

件名： 任意（空欄でも可）

本文： # admin add2members ccnAAAA@tr.kobe-ccn.ac.jp



2.2. メンバーアドレスの変更

登録されているメンバーのアドレスを変更します。

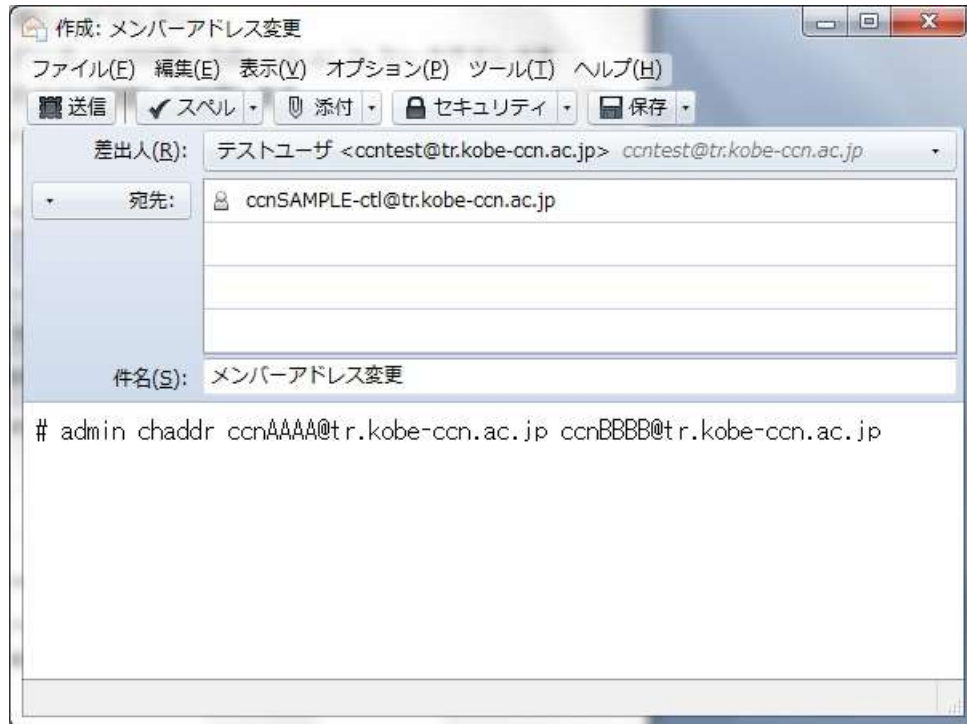
コマンド： # admin chaddr <現在のアドレス> <新しいアドレス>

例：ccnSAMPLE というメーリングリストに登録されている ccnAAAA@tr.kobe-ccn.ac.jp というアドレスを ccnBBBB@tr.kobe-ccn.ac.jp に変更する場合は、次のように設定して送信します。

宛先： ccnSAMPLE-ctl@tr.kobe-ccn.ac.jp

件名： 任意（空欄でも可）

本文： # admin chaddr ccnAAAA@tr.kobe-ccn.ac.jp ccnBBBB@tr.kobe-ccn.ac.jp



2.3. メンバーアドレスの削除

指定されたメンバーのアドレスを削除します。

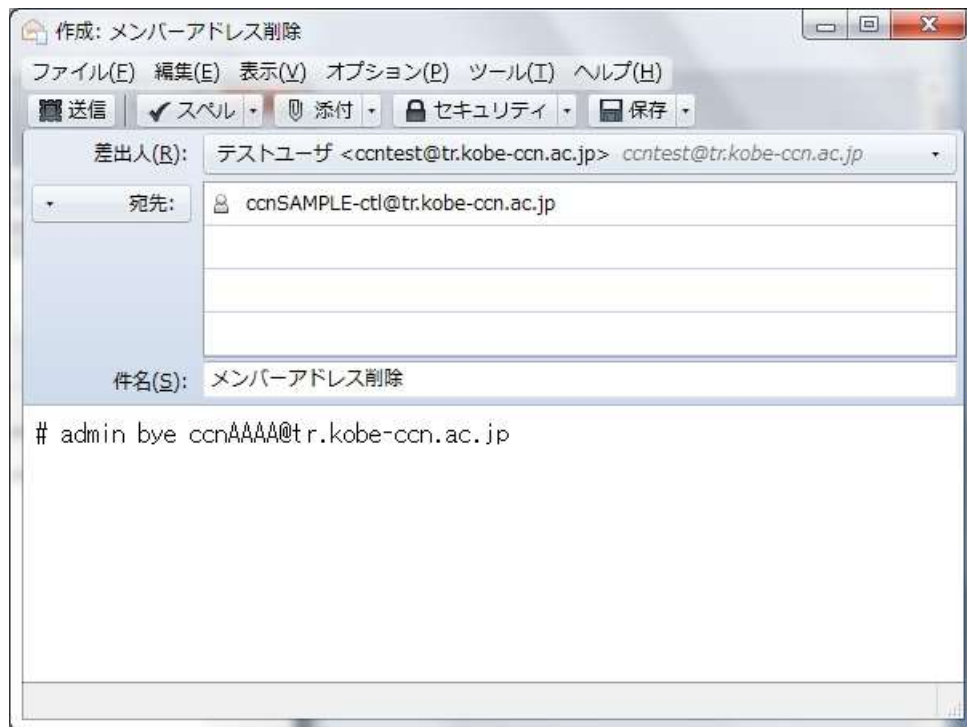
コマンド： # admin bye <メールアドレス>

例：ccnSAMPLE というメーリングリストに登録されている ccnAAAA@tr.kobe-ccn.ac.jp というアドレスを削除する場合は、次のように設定して送信します。

宛先： ccnSAMPLE-ctl@tr.kobe-ccn.ac.jp

件名： 任意（空欄でも可）

本文： # admin bye ccnAAAA@tr.kobe-ccn.ac.jp



2.4. メンバーアドレスへの配信停止

指定されたメンバーのアドレスに対するメールの配信を停止します。配信を再開するには、2.5節の一時休止解除のコマンドを使用します。

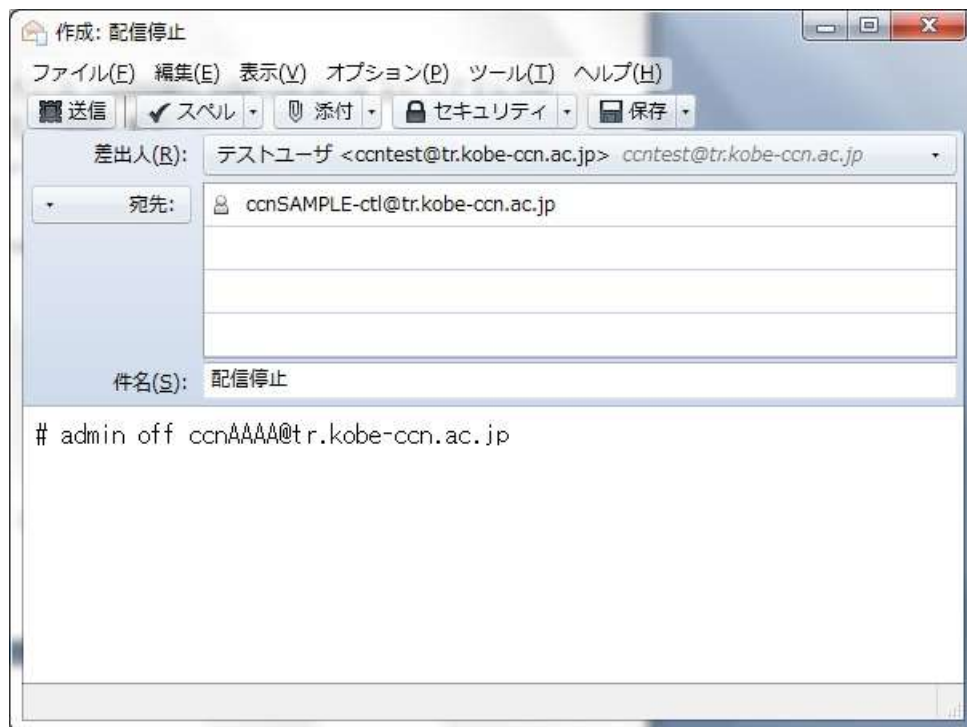
コマンド： `# admin off <メールアドレス>`

例：ccnSAMPLE というメーリングリストに登録されている `ccnAAAA@tr.kobe-ccn.ac.jp` というアドレスに対する配信を一時停止する場合は、次のように設定して送信します。

宛先： `ccnSAMPLE-ctl@tr.kobe-ccn.ac.jp`

件名： 任意（空欄でも可）

本文： `# admin off ccnAAAA@tr.kobe-ccn.ac.jp`



2.5. メンバーアドレスへの配信再開

指定したメンバーのアドレスに対するメールの配信を再開します。

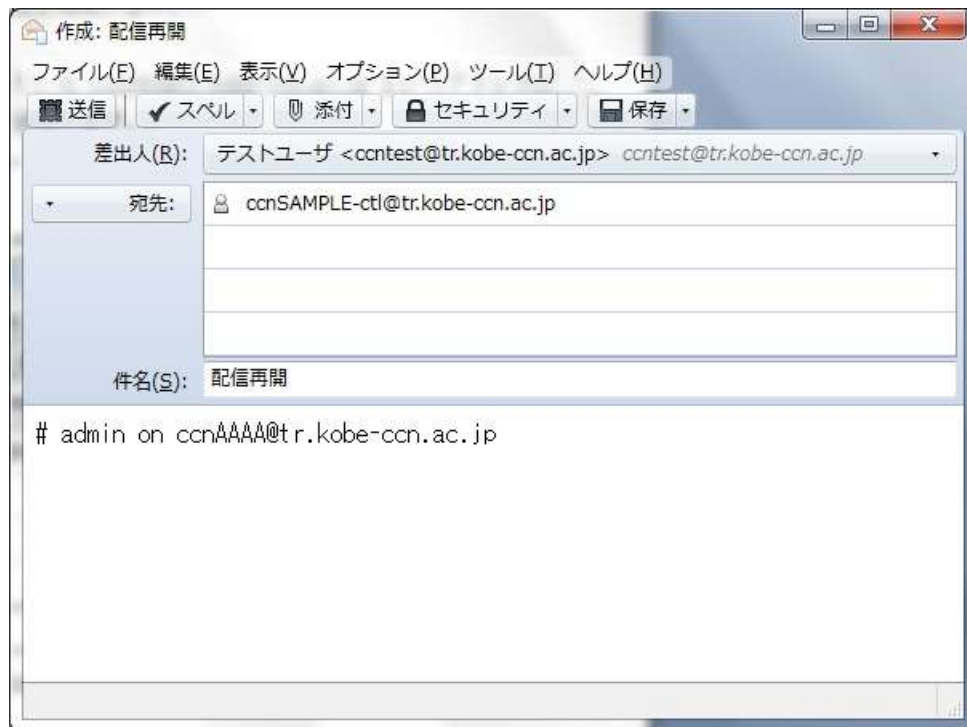
コマンド： # admin on <メールアドレス>

例：ccnSAMPLE というメーリングリストに登録されている ccnAAAA@tr.kobe-ccn.ac.jp というアドレスに対する配信を再開する場合は、次のように設定して送信します。

宛先： ccnSAMPLE-ctl@tr.kobe-ccn.ac.jp

件名： 任意（空欄でも可）

本文： # admin on ccnAAAA@tr.kobe-ccn.ac.jp



2.6. メンバーアドレス一覧の取得

メーリングリストに登録されているメンバーのアドレスの一覧を取得します。

コマンド： # admin members

例：ccnSAMPLE というメーリングリストに登録されているメンバーのアドレス一覧を取得する場合は、次のように設定して送信します。

宛先： ccnSAMPLE-ctl@tr.kobe-ccn.ac.jp

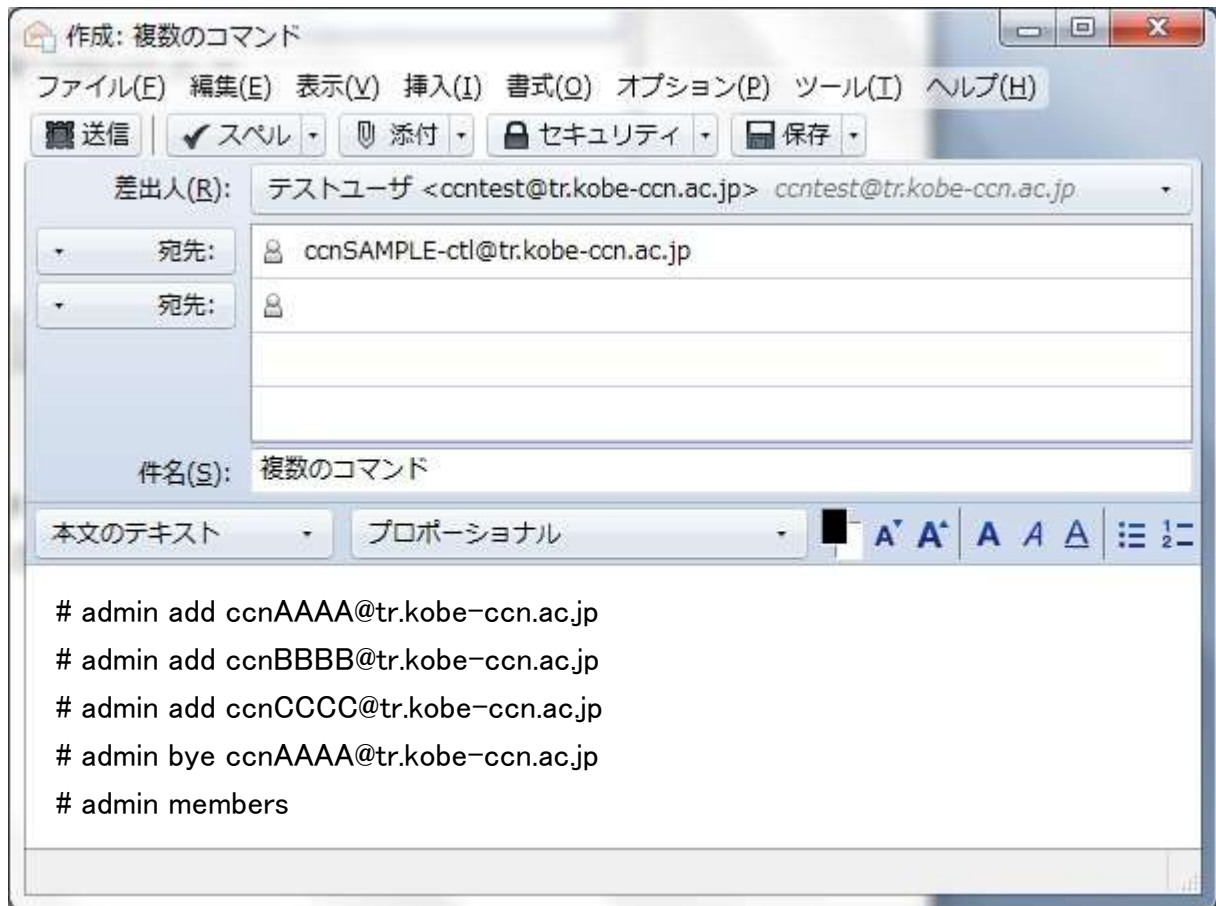
件名： 任意（空欄でも可）

本文： # admin members



2.7. 複数コマンドの記述

1つのメールに複数のコマンドを記述することが可能です。1行に1つのコマンドを記述します。その場合、コマンドは上に書いたものから順に実行されます。ただし、コマンドの処理結果の返信メールはコマンド毎に送信されます。

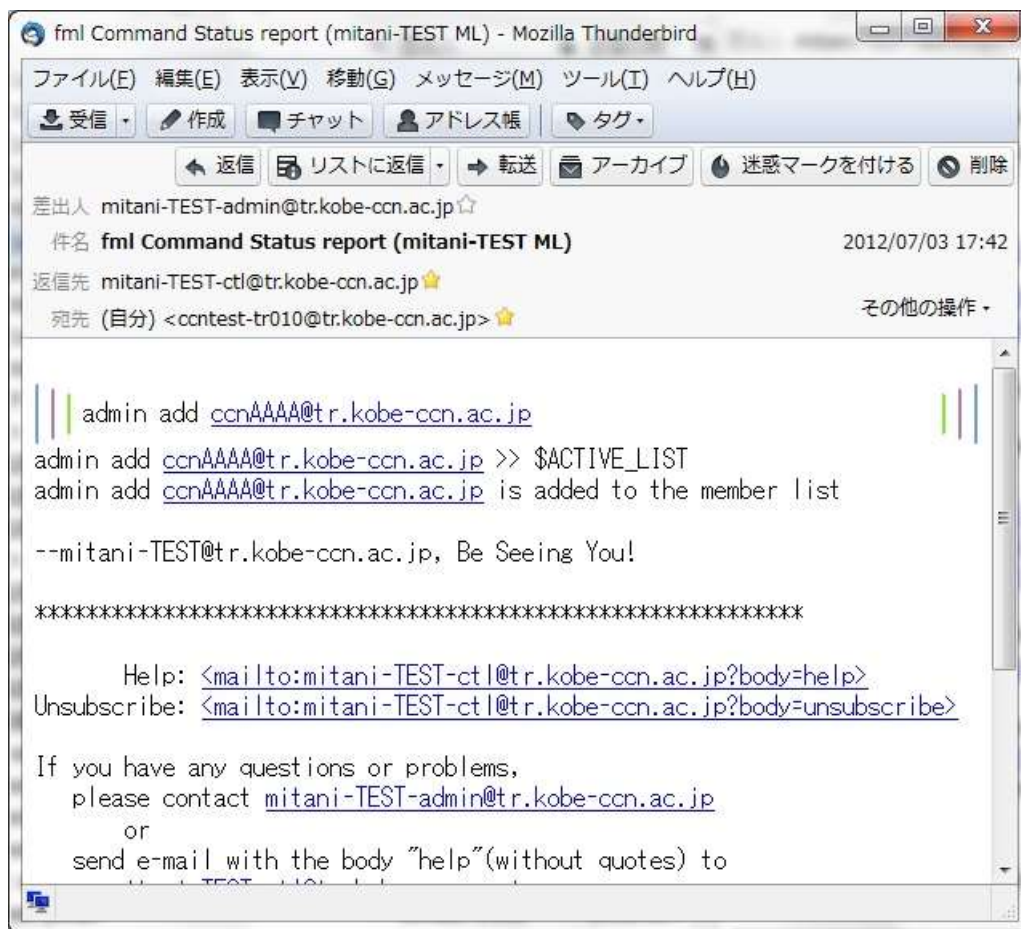


3. 返信メール

メーリングシステムがコマンドメールを受信すると、操作の成功・失敗にかかわらず、コマンドの実行結果が書かれたメールが返信されます。本節には返信メールの例を記載します。

3.1. 成功時の例

メーリングリストへの追加操作（`admin add` コマンド）が成功した場合には、以下のようなメールが返信されます。



3.2. 失敗時の例

管理者アドレスとして登録されていないアドレスからコマンドメールを送信した場合には、以下のようなメールが返信されます。



記述されたコマンドが正しくない場合には、以下のようなメールが返信されます。この例は「add2actives」コマンドを「add2active」としてしまった場合です。

